MEMBER'S BUSINESS DIRECTORY 現役会員企業名

あ行
アールティー㈱
㈲アイアイエステート
㈱アイジーコンサルティング
㈱アイダスト
青木義隆社会保険労務士事務所
青山北町法律事務所
アクサ生命保険(株)
浅木克眞税理士事務所
旭研鍍工業㈱
朝日弁護士法人
一財)あしなが育英会
アジア建設技能促進協同組合
一社)アジア女性リーダーズフォーラム
アジアテックシード事業協同組合
アフラック生命保険㈱
㈱アリア
㈱アレックス
㈱イケ建築事務所
㈱イコーラ
㈱石川酒販
㈱伊藤美装
井上法律事務所
㈲今城左官 今城瞬一級建築士設計事務所
医療法人社団平郁会
岩原工業㈱
㈱インキューブ&リリーズHLDGS.
ウイン・アゲイン㈱
㈲潮田薬局
㈱エコフレンド
㈲エスク
江田総合設備㈱
㈲エヌエステクノ
エヌズ・ゲーム㈱
㈱エフホーム
㈱エリアドライブ
㈱大林組
大村悠事務所
オープンルーム㈱
㈱オーマックス
㈱オールクリエイト
㈱オリエンタル

か行
影島興産㈱
鹿島建設㈱
金井法律事務所
神奈川トヨタ自動車㈱
かもしだ啓介政務調査事務所
川崎武蔵小杉法律事務所
川本工業㈱
㈱神田酒店
かんない総合法律事務所
㈱貴奈美
城戸法務事務所
㈱共栄社
㈲協永製作所
㈱崎陽軒
㈱桐ケ谷工業所
くさま剛事務所
クックパッド㈱
グッドフェイス㈱
(株)クドウホームズ
クマデザインスタジオ
クラブ涼風
クラフトリカーズ㈱
㈱グリーンパッケージ
クレインホーム㈱
クロスボベースボールショップ
ケイシン工業(株)
㈱ケーエスワン
㈲けやきメディカル
ケリア産業㈱
㈱コイワイ
公安警備保障㈱
㈱光聖
㈱高陽印刷所
㈲コーセーリトル横浜大輪蘭華園
㈱コームラ企画
小島法律事務所
後藤允良税理士事務所

さ行
㈱彩塗
㈱斉藤電気設備
㈱サカクラ
㈱坂本電設
㈱さくらアクト
㈱サクラ開発
㈱佐和工業
㈱山愛
㈱三基工業
三共陸上輸送㈱
サンテック㈱
㈱サンクスホーム
清水建設㈱
社会福祉法人幼年保護会横浜家庭学園
社会保険労務士法人横浜労務研究所
ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社
㈱住設工業カワベ
秀和商事㈱
㈱ジュリアーノ
㈲ショウ設備工業
一般社団法人新栄会
㈲菅原設備管工舎
㈱杉浦商事
鈴木工務店㈱
㈱スマイルワン
㈱スリーナイン
清進電設㈱
税理士法人タックス・アイズ
セブンスターエステート㈱
創栄建設㈱
双徳商事㈱
ソニー生命保険㈱
ソライロジェラート

た行
㈱ダイイチ
㈱大栄機械製作所
㈱ダイキ
大東コーポレーション㈱
大洋建設㈱
㈲滝澤工業
㈱匠葬祭
拓陵建設㈱
竹内化成㈱
㈱竹屋造園土木
㈱たしろ薬品
㈱タテシン
田中司法書士事務所
田辺薬局㈱
チームワン㈱
㈱津ノ国屋材木店
㈱ティー・アイ・ジェー
㈱ディーライズ
㈱デイズ
ディプラス㈱
寺越新聞販売㈱
東京海上日動あんしん生命保険㈱
東京大学医科学研究所
桃神興産㈲
㈲動夢計画
㈱床分
㈱どどばし
富弥工業㈱

な行
永田塗装㈱
㈱ながつくるの実
㈲中村モーターサービス
南雲ガラス㈱
㈱ニックスサービス
㈱ニューメッセージ
ネクシアス㈱
㈱ノーサイド
のぞみ法律事務所
野村證券㈱横浜支店

は行
ハーベスト㈱
ハイグッド
㈲ハセガワ企画 不動産
橋本法律事務所
パフィットジム
㈱ハマフローリスト
㈱晩聲社
㈱ピーエルシー
ピコップ㈱
㈱ビシュウ
㈱ヒツジドリーム
ファースト・クラス㈱
㈱ファーストブレイク
ファイナンシャルジャパン㈱
ファング㈱
㈲フィールド・アップ
ふくち法律事務所
藤木陸運㈱
㈱普天間工業
㈱プライベート・サーヴィス
㈱フレックスホーム
㈱プロスト
㈱ベル・コミュニティ
法律事務所横濱アカデミア
北辰建設㈱
ほけんのパートナーズ
星原法律事務所
㈱ポンズコーポレーション

ま行
マークスホーム㈱
毎日興業㈱横浜オフィス
マサキ工業
㈱マスト
馬淵建設㈱
真船法律事務所
㈱丸晶産業
㈱丸杉
三菱地所㈱
㈱三ツ星屋
㈱三堀
合同会社ミナトマチ
ミムラ工業㈱
㈱宮古寿司
都ソフトウェア株式会社
武蔵野電設㈱

や行
安國法律事務所
山本建設㈱
結プランニング㈱
㈲羊ニ企画
㈱横浜エアーアンドシーサービス
㈱横浜エージェンシー&コミュニケーションズ
横浜希望法律事務所
㈱横浜銀行
ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
横濱コーポレーション㈱
㈱横浜国際不動産
横浜下町法律事務所
㈱横浜スタジアム
横浜設備㈱
㈱横浜トクソー
横浜トヨペット㈱
㈱横浜ドリームライン
㈱横浜ロイヤルパークホテル
㈱吉田工業
吉田リアルエステート㈱
㈱吉永商店
㈲吉濵

ら行
㈱ライドイノベーション
ラウンジ バースデー
㈱楽庄
㈲ランチサービスネットワーク
㈱ランドカーサ
㈱レック
㈱ロイヤルウイング

わ行
㈱ワールドフィナンシャル
㈱ワイシー・ドキュメント

A
ALL SUCCEED㈱

B
BAN×KARA ZONE YK
BAR ATLAS
BAR sachimaru
Baycess㈱
㈱BLIST
Blue Tiger㈱
㈱BRAIST
bright㈱
㈲BULLHOUSE

C
Carte Blanche
Club La Sea-Ga

D
Dining Bar JOGO

F
㈱FREE PEACE
Fatum Sports Bar
㈱fromD

G
㈱GENERAL
Girl,s Bar AVARO
GLADY
GO社会保険労務士法人
㈱Grantier

H
㈱Horizon

I
IFA
INTENSE(株)

K
㈱Kanani
KING

L
㈱LCVリレーション

M
MAHANA
Mariction<マリクション>
㈱MELIA
MINT
㈱Mpro

N
Nai'a
㈱NEXT STORY

O
㈱Odo's
okinawanfood&barAKAMATA

P
P.E.C
㈱ponit zero

Q
㈱QUMPOO

R
R&G横浜法律事務所
合同会社 Recircuration

S
SERENDIPITY合同会社
㈱SHINKITA

T
TAILOR SASAKI
㈱TAKANO TRANSPORT
㈱TSK
two right合同会社

U
㈱UNIVACREST

Y
(同)Yokohama Dragon Agency
㈱YSKライフコンサルタンツIFA
㈱YSKライフコンサルタンツ自由が丘支店

数字
1000カットPlus
(あいうえお／ABC／数字順)

一般社団法人横浜青年会議所

横浜市中区山下町2番地産業貿易センター3F

TEL：045-671-7485　FAX：045-671-7489

横浜青年会議所HP　https://www.yokohama-jc.or.jp/

JCI™

一般社団法人横浜青年会議所

2022

横浜青年会議所とは

横浜青年会議所は、20歳から40歳までの横浜市内に在住、もしくは在勤している会員で組織されています。現在約300名が在籍しており、若手経営者・大手企業社員・建築士・会計士・税理士・社労士・司法書士・薬剤師・弁護士など、幅広い職種の会員が集まり、活動しています。会員は年度ごとに異なる委員会に配属され、行政や企業、学校、他団体との意見交換を重ねながら、横浜のまちづくりに関する事業、青少年育成事業、会員研修・会員交流に関する事業など、数々の事業を企画・運営していきます。その中でも、横浜開港祭や大型コンベンションは知名度が高く、横浜の経済発展に寄与してまいりました。事業の企画・運営を通して、会社で仕事をしているだけでは得られない経験や、普段は出会えないような方々との出会いなど、多くの機会に触れられることが、横浜青年会議所の魅力の1つです。

「愛する横浜」をより良く変えてゆく。

私達が住み暮らす横浜は、約160年前まで、横浜村という約80軒の漁師小屋が立ち並ぶ半農半漁の寒村でした。そこから異文化を積極的に受け入れ、最先端を走り続けた先人達の途方もない努力、膨大な議論と判断があったからこそ、急成長を遂げた今の横浜があるといえます。そして、この横浜の急成長に大きく寄与したのが横浜青年会議所でした。1951年に設立されて以降、横浜青年会議所はまちづくりにおいて中心的な役割を担ってきました。横浜スタジアムの建設、外国人墓地支援事業、赤レンガ倉庫の商業利用化、株式会社みなとみらい21への出資、横浜開港祭等、行政に対して、常に民間主導で規制緩和を試みた成果が数多くあります。

創立して71年目の本年度は、運営テーマを「調和」と致しました。調和を「トレードオンの総和」と定義し、トレードオンとは相対する目標を同時に達成させる選択、または、相対する課題を高い視座をもって解決することで、新たな価値を生むことと致します。今現在、私たちが行っている大量生産・大量消費型の経済活動は環境や社会面での犠牲を伴うトレードオフによる選択がほとんどですが、より豊かな社会を作りだしていくには、トレードオンの視点に変えていくべきです。

横浜青年会議所に所属する約300名の会員が、切磋琢磨し力を合わせ、明るい豊かな社会の実現のために活動をしています。本気での活動は必ず自分の成長となります。共に活動をした仲間たちは一生の財産になります。皆さんと共に活動ができる日を楽しみにしております。

第71代 理事長　崔 成基

調和 TRADE ON

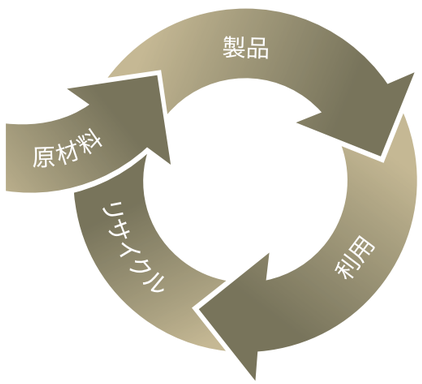
2022年度運営テーマ

2022年度 委員会紹介

循環経済推進室	循環経済推進委員会	循環経済の推進や、地域循環共生圏の展開に関する事業実施を担当する委員会
	オープンイノベーション委員会	サーキュラーエコノミーの創造及び展開に関する事業実施を担当する委員会
	循環経済アカデミー委員会	循環経済先進都市実現のための事業構築を通じて、その担い手となる人財育成をおこなう委員会
横浜開港祭室	横浜開港祭総務委員会	横浜開港祭の開催にあたり、協賛企業との連携を担当する委員会
	横浜開港祭企画運営委員会	横浜開港祭の企画、コンテンツを計画し、当日の運営を担当する委員会
	横浜開港祭広報渉外委員会	横浜開港祭に関する広報渉外活動をおこなう委員会
	メンバーシップ推進特別委員会	横浜青年会議所への入会を希望される方への案内をする委員会
会員室	リーダーシップ推進委員会	新入会員の方々が最初に配属され、当団体を知っていただくためのオリエンテーションをおこなう委員会
	例会式典委員会	月に一度、会員が集まる例会の開催を企画し、また新年式典や記念行事などを担当する委員会
渉外室	コンベンション推進委員会	日本各地の青年会議所の会員が一堂に会する大会の運営協力及び地域活性化のために横浜の魅力を発信する委員会
	渉外委員会	国内外各地の青年会議所との連携をおこなう委員会
総務室	マーケティング戦略委員会	マーケティングを活用し、横浜青年会議所の認知拡大をおこなう委員会
	総務委員会	会費管理や諸会議の開催、財務、会計・コンプライアンスに関する業務、文書管理・発行など事務局業務に関する委員会
専務室		行政及びその他の外部機関と連絡調整を担当する室

横浜青年会議所 2022年度の主な政策「循環経済の推進」

2022年度、横浜青年会議所では、循環経済の推進に注力してまいります。これまでは、横浜市の人口減少を見据え、インバウンド需要拡大など、交流人口増加につながる政策を推進してきました。しかし、外需に期待できない状況も念頭におき、資本・資源が地域内で好循環を生む地産地消型の経済モデルなど、新たな成長戦略を描いていく必要があります。具体的には、横浜市内での再生可能エネルギーの地産地消を促すことによるゼロカーボンシティーの実現、循環経済を強烈に後押しする金融エコシステムの構築、ユニコーン企業の誘致などにチャレンジしてまいります。
地域に好循環が生み出され、横浜が循環経済先進都市として世界から注目されるようになることで、まちに新たな豊かさがもたらされると確信しております。



横浜青年会議所 主な事業の実績
横浜開港祭

横浜開港祭は、港に感謝し、市民と共に横浜の開港記念日である6月2日を祝うために開催しております。花火やライブなど賑わいのある様々な催しを実施し、まちづくりと観光の活性化を図るために開催される“市民祭”です。本年、41回目を迎える横浜開港祭は横浜青年会議所が中心となり、市民・行政そして企業が一体となって参画し運営を行っております。

自分のキャパシティーが広がり、人生が、未来が大きく変わる

岡田 伸浩氏（1993年卒業）
株式会社横浜岡田屋 代表取締役社長

横浜青年会議所には3つの宝があります。1つ目は「ちょっと無理をする」ことです。皆それぞれにポテンシャルを持っていますが、ちょっと無理をして活動をしてみることで自分の幅を大きく広げることができます。自分自身に挑戦する機会が多くあり、経営や人生を豊かにすることができます。2つ目は「単年度制」です。1年毎に組織体制が変わる単年度制であるが故に、毎年、組織が入れ代わり、様々な立場を経験できます。苦手なこと、初めてのことに挑戦し練習する機会を得ることができます。3つ目は「前向きホルモン」を持てることです。一見、意味のないように見えることにも意味があります。その意味を理解し、物事をポジティブに考える大切さを学ぶことができます。横浜青年会議所に入会するという一歩を踏み出すことで、この3つの宝に触れることができます。自分のキャパシティーが広がり、人生が、未来が大きく変わり、確実に豊かなものになります。

人との関わりの中で、学校では学べない多くのことを学ぶ

野並 直文氏（1989年卒業）
株式会社崎陽軒 取締役社長

私は、人生を15年ごとに区切って意味づけしていくことができると考えております。生まれてから15歳までは体力を作り、16〜30歳までは学問をし、31〜45歳までは人脈作りをする。そして46〜60歳まではそれまで培った学問、人脈などを総動員し、最も力が発揮できる時期だと考えます。そのように考えると、30代が中心の横浜青年会議所では、人脈を作り、人との関わりの中で、学校では学べない多くのことを学ぶことができます。例えば、物事をうまく進めるために必要な調整力や人を見る目も養われます。この活動で培った人脈はかけがえのないものです。地元の経済人の方々で、今も横浜青年会議所に入っておけばよかったとおっしゃる方はたくさんいます。入会して活動することで、自分の会社での役職、立場とは関係なく、1から学んでいくことができ、そのような機会は本当に得難い貴重な経験となりました。

自分の可能性が広がり、得られるものがたくさんある

大江 光正氏（1988年卒業）
大江電機株式会社 代表取締役社長

横浜青年会議所は、会社という限定された世界から飛び出して、年齢、業種が全く違う仲間と出会い、自分自身の土台を広げるためのトレーニングができる魅力的な団体です。また、単年度制の組織運営をしており、人事に触れ合う機会が多くあります。そのため、人を見極める力を付けることができます。さらに、組織を運営するためのノウハウを学び、1年間集中し本気で向き合い取り組むことで自分自身を鍛えることができます。横浜青年会議所に入会して、利害関係のない人たちと出会い、1年毎の新しい体制の中で同じ目標に向かって活動していくことで、視野が広がり、入会前とは全く違う視点で物事をとらえられるようになりました。横浜青年会議所には、自分の可能性を広げる機会があり、一生懸命頑張った分、得られるものもたくさんあります。頑張りを見てくれている人が必ずいて、卒業後も一生付き合える仲間たちと出会うことができる団体です。

考え方1つで困難な状況でも前向きに取り組める団体

中村 晃大（2013年入会）
馬淵建設株式会社 執行役員

横浜青年会議所の魅力としては、1つの目的に向かって共に切磋琢磨することで信頼関係が生まれ、一生付き合える仲間ができること、そして私達の活動が明るい社会の実現に繋がることです。更に横浜だけではなく神奈川エリア・関東エリア・日本全国・世界へと自分の枠を広げることで交流関係の輪を広げることもできます。青年会議所の使命を表す「JCI MISSION」というものがありますが、その中に「positive change」という言葉が出てきます。この言葉に触れ、考え方1つでどんなに困難な状況でも前向きに取り組めるようになりました。また、社業では体験できない経験ができ、まちづくり・人づくりを考えるのが横浜青年会議所であり、同じ考えを持つ若き経済人と触れ合って成長することができます。

目標を達成すると、それ以上の喜びが感じられる

俵谷 香奈（2018年入会）
株式会社Kanani 代表取締役

同世代の様々な職業の方と出会えることが、横浜青年会議所の魅力の1つです。自分の仕事をしているだけでは出会えない人達と共に活動することで、尊敬できる人、友達と呼べる人にも出会えました。今では会員と連絡を取らない日は無いくらいです。入会する前は完全にプレーヤーとして仕事をしていましたが、活動をする中で会員からアドバイスをうけたこともあり、少しずつ店舗をスタッフに任せていくことができました。また、入会する前より自分の時間も作ることができるようになりました。そして、以前は人前で話すことが得意ではありませんでしたが、最近は苦手意識がなくなってきました。横浜青年会議所では自分で望めば成長の機会が必ずあります。自分で立てた目標を達成すると、それ以上の喜びが感じられると思います。

頑張った分だけ、応援してくれる仲間が増える

川本 泰之（2019年入会）
川本工業株式会社 取締役

多くの応援してくれる仲間に出会えることが、横浜青年会議所の魅力の1つです。気付いた時には、横浜のために頑張っている人を自分も応援しており、また、自分が頑張ると応援してくれる仲間が周りに増えていました。仕事では出会うことのできない人に出会えることも魅力の1つです。私は、民間・行政・政治とたくさんの方々と出会うことができました。さらに地元横浜のみならず、神奈川エリア、関東エリア、日本全国といった地域に広がる青年会議所組織の活動に参加することもできます。つまり、多種多様な経営者、若き経済人と知り合える、仲間になることのできる団体、そして地域の活性化に携わることのできる団体です。今や、その魅力に引き込まれている私がいます。是非、青年経済人として横浜から日本を、そして世界を豊かに、一緒に感じてまいりましょう。

入会する6つのメリット

1. 生涯の仲間に出会える場です

大人になるとなかなか親しい友人をつくるのは難しいものです。1つの目標に向かって様々な活動をおこなう横浜青年会議所は、活動を通して友情が芽生え多くの仲間ができていきます。特に新入会員は、同期会員として、より特別な絆が生まれます。

2. 様々な経験をできます

1年毎に組織体制が変わる単年度制であるが故に委員会では、委員、幹事、副委員長、委員長とステップアップをし、様々な役職を経験します。また、委員会によって取り組む活動が異なるので苦手なことや初めてのことに挑戦する機会を得ることができます。

3. 同世代の同業種・異業種の人々と交流がもてます

横浜青年会議所の会員は横浜に在住または在勤の、20歳から40歳までの青年経済人です。会員企業は業種も役職も様々です。同業種の仲間には仕事の相談などをし、異業種の仲間からは今までの自分にはなかった視点や発想が得られます。

4. 自己の成長を感じる場です

会員は、所属する委員会の取り組む内容や自身の役職に応じた役割を担うことになります。目標を達成しようと仲間と一緒に本気で活動することで大きな成長を得ることができます。1年前の自分と比べると明らかに成長できていることを実感できる場です。

5. 時間をうまく使うことを学べます

会員は、それぞれ仕事をし、家庭を持ちながら、横浜青年会議所の活動をしており、多忙な中でも成果を上げられるよう、時間の使い方を真剣に考えています。時間を有効に使って活動している仲間からも学びを得て、社業の発展につなげている会員も多くおります。

6. 日本全国・世界へつながる人脈づくりができます

青年会議所は地域ごとに存在し、日本全国には約700の組織があります。また、世界では120の国と地域で活動がされています。横浜青年会議所の会員だけでなく、他の地域の会員と活動できる機会も多く、日本全国や世界規模での人脈を作ることができます。

同好会活動

横浜青年会議所には事業のための活動の他に、様々なジャンルでの同好会があり、会員の交流の機会となっています。

- ■青苔会（茶道同好会）
- ■横浜 JC じゃがいもクラブ（ゴルフ同好会）
- ■横浜 JC トンネル倶楽部（野球同好会）
- ■横浜 JCFC（サッカー同好会）
- ■横浜 JCTC（テニス同好会）

横浜青年会議所 よくある質問

Q どんな活動をしているのですか？

2022年度、横浜青年会議所には13の委員会があり、会員はいずれかの委員会に所属しています。循環経済室はまちづくり、人づくりに関する活動を、横浜開港祭室は横浜開港祭の開催に関する活動をおこなっております。詳しくは委員会紹介をご覧ください。

Q 仕事が忙しく活動ができるか不安ですが大丈夫でしょうか？

会員はそれぞれ仕事をしながら横浜青年会議所の活動をおこなっております。毎月一度の例会と所属の委員会にはご参加いただき、それ以外の活動については、会員それぞれ活動しやすい時間等も異なりますので、ご自身のペースで参加していただければと思います。

Q 女性会員はどのくらい在籍していますか？女性でも活動ができるか不安ですが大丈夫でしょうか？

現在横浜青年会議所には30名程の女性会員が所属し、中には役員となって活躍されている会員もいます。家庭や仕事と並行して横浜青年会議所活動をできるよう、会員本人や配偶者の出産後も育児のために一定期間出席を免除するなど諸規定も整備されております。

Q 横浜青年会議所がおこなう代表的な事業を教えてください

横浜の開港を祝う「横浜開港祭」や横浜市に政策提言をおこなう「横浜経済人会議」が代表的な事業です。日本青年会議所が主催する「サマーコンファレンス」では、各界の有識者をお招きし、地域・国家・国際・組織を主軸に様々なジャンルのファンクションが開催されています。

会員構成比

横浜青年会議所では様々な業界のメンバーが活躍しています。多角的な視点で経営について語り合えるのも、横浜青年会議所の魅力の１つです。

- ●建設業 23.5%
- ●飲食 11.5%
- ●不動産業 10.5%
- ●卸・小売 8%
- ●保険業 5.5%
- ●製造業 5.5%
- ●金融業 2.3%
- ●サービス業 12%
- ●弁護士 6.5%
- ●産業廃棄物処理 2.65%
- ●運送業 2%
- ●人材派遣、紹介 2%
- ●政治 1.5%
- ●税理士 1.5%
- ●冠婚葬祭 1.5%
- ●警備 1%
- ●コンサルタント 1%

入会要綱

1.入会資格

■会員資格は20歳から40歳までの品格ある青年とし、原則入会資格は20歳から38歳までと致します。
■横浜市在住または在勤の方と致します。
■入会希望者は推薦者によって推薦された方に限ります。

2.カリキュラム

■入会希望者はゲスト承認後、青年会議所運動を理解していただくためにメンバーシップ推進特別委員会の指定した下記記載のカリキュラムに参加していただきます。
▶ゲストオリエンテーション　▶例会

3.入会必要書類

●入会申込書１通
●証明写真2枚（カラー写真4.5㎝×3.5㎝、3か月以内に撮影したもの）
男性：スーツ・ネクタイを着用してください。（ダークスーツが好ましい）
女性：スーツ又はこれに準ずる服装を着用してください。
（ダークスーツが好ましい）
※顔や肩から上は鮮明に写り明らかに本人と確認可能なものにしてください。
●誓約書１通
●住民票１通
●身分証明書１通
※免許証やパスポートのことではございませんのでご注意ください。
（本籍所在地の市区町村役場にて、3か月以内に発行されたもの）

4.推薦者（スポンサー）

■入会１年以上を経過した正会員1名と役員1名の計2名の推薦者が必要です。

5.入会費用

●入会金 50,000円・年会費 180,000円
●預託金 49,000円
●会報誌購読料 3,000円
※入会金については入会時のみとなります。
※年会費、預託金、会報誌購読料は毎年度費用が掛かります。
※預託金に関しては、毎年度予算の関係で変動がございます。
※ゲストとして例会に参加された後、理事会承認を得て入会決定となりますので、その時点まで上記入会費用は発生致しません。
※入会初年度はリーダーシップ推進委員会に配属されます。
横浜青年会議所は入会必要書類の取得に際し、個人情報の保護に関する法律に基づき、目的を達成する事業の実施並びに利用目的の達成に必要な範囲を超えて、取り扱わないことと致します。

入会カリキュラム

入会面接（入会希望者〈要参加〉）	理事会ゲスト承認	ゲストオリエンテーション（入会希望者〈要参加〉）	ゲスト例会（入会希望者〈要参加〉）	理事会入会承認	例会〈バッジ授与〉（入会希望者〈要参加〉）
前年度面接 11/29(月)・1/17(月)	2月	2/16(水)	3月	4月	5月
2/16(水)	3月	3/17(木)	4月	5月	7月
3/17(木)	4月	4/18(月)	5月	6月	
4/18(月)	5月	6/23(木)	7月	8月	9月
5/21(土)	6月				
6/23(木)	7月	7/11(月)	8月	9月	10月
11/28(月)	次年度カリキュラム				

※理事会（ゲスト承認・入会承認）例会（ゲスト例会・バッジ授与例会）は現時点の予定であり、今後、変更されることもあります。